

青少年育成委員会 基本方針

専務理事 古林 史也

青少年育成委員会 委員長 花岡 彰哉

近年、子どもたちの生活の中でデジタル技術に触れる機会が増え、急速に変化する社会への適応力を身につける一方で、文化活動における交流の機会や、挑戦や成功体験の減少が深刻な課題となっています。こうした状況により、子どもたちの心身の健全な成長や、自己肯定感の低下が懸念されていることから、青少年の課題に取り組む私たちが現状に即した課題をより深く調査し、改善に向けた具体的な施策を早急に実行する必要があります。

まずは、地域が抱える現代の子どもたちへの課題を鳴門板野JCメンバー全員で学ぶことが必要です。そのためには行政、地域団体の方に協力していただき、現場の声から生きた課題を共有し、効果的な解決策を模索する例会を企画します。官民一体となり同じ課題に向き合い案を出し合うことで、次代を担う青少年の育成に向けた、持続可能な事業構築を可能にします。さらに、子どもたちが夢や希望を持って明るく健全に成長することがより良い社会の実現に向け必要不可欠だと考え、例会で得た気づきや新たな視点を盛り込んだ青少年育成事業を開催します。そして、事業の中で子どもたち自らが積極的な他者との交流や、挑戦をする中で成功体験などの経験を通じて自己表現力を高め、豊かで穏やかな心を持つ自己肯定感の高い青少年の育成を目指します。また、プロ経験のある指導者や一つのスポーツに特化した方たちをお招きし、多様な年齢層が交流する場をつくることで、コミュニケーション能力の向上と、学校や普段の生活では学べないことや、この事業ならではの経験や体験を通じて精神面と身体面のバランスの取れた成長の機会へとつなげます。

私たちが現状に即した課題を調査し改善に向けた事業を構築することで子どもたちの自己肯定感やコミュニケーションスキルの向上が見込まれます。私たちのこのような活動により子どもたちの健康と成長が促進され、良い未来を築く基盤がつけられると確信します。

SDGs 4.1.1.17

〔事業計画〕

1. 2月事業構築につながる例会の企画・設営

2. 10月青少年事業の企画・設営